

令和8年度



園だより

5月号

杉並区立高井戸西子供園

教育目標「あそびがすき ともだちがすき じぶんがすき」

「大切な成長の節目」

副園長 大萩 純子

入園したばかりの年少ことり組は、登園時に保護者の方と離れることに戸惑う様子がありました。最近では「今日も砂場で遊ぶ!」、「また塗り絵をして(ペープサートにしたら)遊びたいな。」などと、気に入った遊びをすることを楽しみにし始めています。また、集合して手遊びや歌を歌う時には笑顔が増えて、教師への親しみや、集まると楽しいことがあるということを感じているようです。これらの姿は、園生活のスタートにとっても大切なことです。

年中うさぎ組は、始業式の日新しい名札を教師に付けてもらったことをとても喜んでいました。「ピカピカのバッチだよ。うさぎ組になったよ。」と他の教師に出会う度に満面の笑顔で伝えていました。新しい名札を胸にしていることで、進級した晴れがましい気持ちを実感したようです。また、時折、昨年度まで自分たちの部屋だった年少組の部屋をそっと見に行く子もいました。自分より小さい子たちが過ごしている様子をしばらく見てから、くるりと向きを変えて現在の部屋に戻り、遊び始めていました。それは、“自分はもう、小さいクラスの子ではない、一つ大きいクラスになったんだ”と気持ちを切り替えている姿に見えました。

年長ぞう組は、入園式で歓迎の言葉と園歌を披露しました。背筋をピンと伸ばして会場に登場し、学級の仲間と気持ちを合わせて歓迎の気持ちを表現していました。その姿からは、“子供園の中で1番大きい学年になった”という子どもたちなりの自覚が感じられました。

そして年少児初登園の朝には、年長児は門の前で年少児を出迎え、不安そうにしている年少児の手を取り、年少組の部屋に連れて行ってくれました。中には、荷物を持ってあげる年長児もいました。“自分より小さい子を助けてあげたい”、“優しくしてあげたい”、という気持ちが自然と表れていました。また、翌週には、年少児の入園と年中児の入園、進級を祝う歓迎会をしました。年長児は事前につくったプレゼント(チョウのペープサート)を手渡す直前まで、相手に見えないように大事そうに後ろ手にして持っていました。その姿は相手に喜んでもらいたい、このプレゼントで遊んでほしいと思う気持ちの表れに見えました。そしていよいよ手渡したときには、年少児年中児が喜んで見る姿を見て、とても満足気な表情をしていました。

このように新年度を迎えたことで、子どもたちからは、それ以前とは違う様々な気持ちが湧き出ていました。大人が予想する以上に、入園すること、進級することは、子どもたちにとって戸惑い、気付き、喜びなどを経験する大切な成長の節目になっていると実感しました。

これから、子どもたちは、伸び伸びと自分を出し始めたり、中には張り切りすぎて少し疲れが出てきたりすることもあるでしょう。職員一同で協力し合い、子どもたち一人ひとりの思いを理解し、その子なりのペースを認め励ましながら、今後も子どもたちの成長を支えて参りたいと思います。

【5月の保育】

年少ことり組

4月の登園時は保護者と別れがたくて涙が出たり、不安な表情も見られたりしましたが、幼稚園の生活に少しずつ慣れてきたことで、保育者にも親しみをもち、楽しいことを見つけると教えてくれたり、時には「手伝って」と甘えてきたりしています。保育者と一緒に繰り返し行っている身支度など生活に必要なことも少しずつ分かってきて、自分でやってみようという気持ちが芽生え始めてきています。

今月は、一人ひとりが安心して好きな遊びや好きな場所で遊ぶことを楽しめるように、幼児の興味に合わせて環境を用意したり、一緒に遊びながら楽しさに共感したりしていきます。保育室だけでなく、園庭の草花や虫などの身近な自然物にも触れて、戸外で遊ぶ心地よさも感じられるようにしていきます。

年中うさぎ組

4月は、砂場遊びや固定遊具、製作、鯉のぼりなどを通して、自分の好きな遊びや興味をもった場所を見つけ、楽しむ姿が見られました。

5月は、いろいろな素材を使って、自分でかいたりつくったりすることを楽しめるようにしていきます。ウレタン積み木から木製の中型積み木へと変えるため、安全に楽しく活動ができるよう、子どもたちと一緒に積み木の運び方などを確認しながら進めていきます。

また、生活面では身支度などを自分でやってみようとしています。自分でできた喜びや自信につながるよう、その姿をしっかりと認める声掛けを大切にしていきます。

最近は、「自分はこうしたい」という気持ちが強くなり、友達とのいざこざが見られることもあります。一人ひとりの気持ちを受け止めながら、相手にも思いがあることに気付けるような声かけを心掛けていきます。

年長そう組

4月は、ことり組のお世話や歓迎会、こいのぼりづくりなど、様々な活動に張り切って取り組んでいました。

5月は、誕生会の司会やお休み調べなど、自分のやることが分かり、自分たちで進めていこうとする気持ちをもって取り組めるようにしていきます。遊びでは、大型積み木やキングブロックなど、新しい遊具も子どもたちと一緒に遊びながら使えるようにしていきます。また、友達と関わって遊ぶ中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、友達と一緒に遊んでいく楽しさを感じられるようにしていきます。

5月は、そう組になって張り切っていた姿から疲れが出てくる時期でもあります。お子さんの「頑張りたい」という気持ちと「ちょっと疲れちゃった…」という気持ちを園でもご家庭でも丁寧に見取りながら、一緒に支えていければと思います。

